小野町

2026
10
No.764

おのだけの素敵ないろ、ぜんぶ見つけよう。

おのいろ onoiro



www.town.ono.fukushima.jp

災害から
身を守るために！

備えて安心 小野町の防災

近年、全国で大規模な地震や台風などの自然災害に見舞われています。町民一人ひとりが命を守り、幸せに暮らすために、町では防災意識の向上や避難体制の見直しなどに取り組んでいます。今回は、小野町消防団の須藤団長に震災や台風の被害を振り返りながら、防災についてお聞きしました。

＼写真で振り返る！／

町内で発生した災害状況

【東日本大震災】
①町民体育館に避難所を開設。
②町内でも倒壊被害が発生。

【令和元年東日本台風（台風19号）】
③町内で複数の浸水被害が発生。
④河川の氾濫により、橋が崩落する被害も。


①


④


③


②

東日本大震災で小野町は幸いにも大きな被害は少なく、町民体育館に避難所を開設し、広野町や大熊町などからの被災者を受け入れました。当時、副団長として避難所の責任者を務めた須藤さんや消防団員の皆さんはテントの設営や食事の準備、トイレ清掃などで尽力しました。「原発事故の影響でやむなく家族で避難を決めた団員の多くが、出発前に私を訪ねてくれて、再会を約束したことが忘れられません」と振り返る須藤さん。「避難所で非日常を過ごす避難者の方々も時間と共に情緒が不安定となり、普段見ることのない表情や行動がとてもつらかったです」と当時の記憶を話してくれました。

令和元年東日本台風（台風19号）では国道349号線の通行止めや建物の冠水など、大きな被害がありました。「郡山市に救急搬送のため出動した救急車が町に戻ってくることができず、不安な状況で夜を迎えた時に妊婦さんが出血する事態が起きました。友人の助産師が対応してくれたおかげで状態が安定した時は本当にほっとしました」と当時の想定以上の混乱も反省になったと言います。

「災害は必ず来るものと思って、普段から非常用品などの準備をしてください」と話す須藤さん。今後は、ペットと一緒に車で避難するための駐車場の確保や、避難所で高齢者などが快適に過ごせるパーテーションの設置やトイレ動線の配慮にも努めていく予定です。

CHECK

「災害は必ずくるもの」と意識しながら備えていく

＼お話をお聞きしたのは／



小野町消防団　団長
須藤昭雄さん





防災リュックをつくろう！

災害はいつ、どこで起こるかわかりません。そのために備えておきたいのが防災リュック。災害発生時に最低限必要な日用品や食料品を詰めて準備しておきましょう。今回は100円ショップなどで気軽に購入できるアイテムを中心に紹介します。



■簡易トイレ



■ティッシュ、ウェットティッシュ、タオルなど





■常備薬、絆創膏、マスク、使い捨て手袋などの救急用品や衛生用品

◎写真は一部です。ほかにも、衣類、ゴミ袋、ラップ、多機能ツールなどがあると便利！

■非常食



保存期限も確認しましょう！



■ミネラルウォーター

■ブランケット、カイロなどの防寒用品



■懐中電灯、携帯ラジオ



乾電池もセットで準備すると安心です！

■モバイルバッテリー



充電があるかチェックしましょう！

「小野町防災ガイドブック」でも日ごろから備えておくものを紹介しています。お手元にない方は役場で配布しているのでご連絡ください。

＼こちらでも確認できます！／



町民生活課
先崎さん

お問い合わせ　町民生活課　TEL.72-6933

田村消防署 小野分署を訪問！

いざというときのために、備えておきたいことは？

- ☑ご近所さんとのお付き合いをしっかりしておくと、家族の人数が把握できるので救助の際に役立ちます。
- ☑通信関係が止まる場合もあるので、家族と落ち合う場所を決めておいてください。普段から災害が起きた場合のイメージトレーニングをしておくことも大切です！
- ☑家具をしっかり固定しておきましょう。
- ☑火災が起きないように、避難時はブレーカーを下げて家を出ましょう。
- ☑水が出なくなる場合もあるので、お風呂の水を抜かずにためておき、トイレなどに使用してください。ゴミ袋、フリーザーバッグ、ラップなど多様性のあるものを避難時に持参しましょう。

＼お話をお聞きしたのは／



（右）田村消防署 小野分署　分署長
佐藤 敏正さん
（左）副分署長　澤村 真吾さん

さらに　小野分署では救急車やポンプ車の数が限られているため、町民の皆さんへ自助努力もお願いしています。ぜひ救命講習会にご参加ください。

第20回市町村対抗福島県軟式野球大会

試合結果：小野町　対 猪苗代町 3対5



第20回市町村対抗福島県軟式野球大会が県内各球場で開催されました。

小野町チームは9月6日、あぶくま球場で猪苗代町と対戦しました。3回裏、猪苗代町に5点を先制されるも6回表小野町チームの攻撃ではヒットを重ね3点を奪いました。その後、出塁するも得点には至らず3－5で初戦惜敗となりました。

町内での試合ということで、選手のご家族をはじめ、多くの方が会場に駆けつけ応援いただきましたことに感謝申し上げます。選手ならびにチーム関係者の皆さん、大変お疲れさまでした。

また20回目の大会開催を記念し「20回連続出場記念賞」を宇佐美弘選手が受賞しました。20年間の偉業に敬意を表します。おめでとうございます。

選手名簿（敬称略）

背番号	ポジション	氏　名
	代　表	藤井　　浩
30	監　督	草野　政氏
10	主　将	武藤　崇史
14	投　手	大竹　勇也
15		宇佐美　弘
18		大和田泰世
2	捕　手	吉田　慎吾
21		草野　太雅
22		吉田浩太朗
29		加藤　　翼

背番号	ポジション	氏　名
1	内野手	髙﨑　寛太
3		長久保光生
4		坪井　政志
6		矢吹　正稀
7		小松　翔人
12		吉田　寛紀
17		吉田　友樹
28		吉田　靖章

背番号	ポジション	氏　名
8	外野手	吉田　洸規
9		吉田　　樹
11		伊藤　大規
16		宇佐美清春
19		宗像　陽介
20		佐藤　　陽
23		大和田　篤
24		伊藤　義郎

第33回町民グラウンド・ゴルフ大会開催

第33回町民グラウンド・ゴルフ大会が8月22日に開催されました。

大会には、21行政区から167人の多くの方々に参加いただきました。

当日の競技は、多目的グラウンドと野球場に設けられた32ホールで行われ、参加者の健康増進と親睦を図ることができました。

成績は下表のとおりです。（敬称略）





団体の部	優　勝	仲町行政区A		スコア243
	準優勝	谷津作行政区A		スコア249
	第3位	小野山神行政区A		スコア251
男子の部	優　勝	飯豊下	先﨑　伸一	スコア29
	準優勝	荒　町	合津　修平	スコア33
	第3位	雁股田	荻野　和美	スコア34
女子の部	優　勝	仲　町	平山　良子	スコア37
	準優勝	荒　町	石戸マサヱ	スコア38
	第3位	反　町	吉田ユキ子	スコア39

今月の表紙

今月号の表紙は、田村消防署小野分署の皆さん！

P 2−3では、町の防災について、小野分署の皆さんや小野町消防団長に取材し、詳しくご紹介しています。

ぜひご覧ください。



「広報おのいろ」配信中！

マチイロ　iOS用　android用

マイ広報紙

Catalog Pocket

※カタログポケットは、多言語への翻訳機能があるため、外国籍の方でも簡単にご利用できます。
翻訳対応言語（日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語）

町公式SNSなどでたくさんの情報を発信中！

町では、広報紙のほかにも公式SNSなどのツールで、暮らしの情報から気になる最新情報までたくさんの情報を発信しています！

みなさんの利用しやすいツールから町の情報をぜひご確認ください!

LINE登録はこちらから

Instagramはこちらから

YouTubeはこちらから

dボタンかわら版

テレビの5チャンネルからdボタンを押して、町からの配信情報を確認できます！

ウェブサイトはこちらから

INDEX

02 備えて安心 小野町の防災
04 INDEX ／町公式SNSなどでたくさんの情報を発信中！
05 Topics ～町のできごと～
08 広島平和記念式典派遣事業
11 ～小野町学力向上推進事業～／3歳児よい歯の表彰式
12 小野小通信
13 小野中通信
14 おのまち認定こども園通信／地域子育て支援拠点事業(おひさまカフェ)のお知らせ／令和9年度おのまち認定こども園入園児募集のお知らせ
15 子どもの居場所づくり事業 こども食堂
16 障害年金について／国民年金保険料の育児免除制度が始まります！
17 マイナンバーカードをお持ちの方はコンビニで住民票や印鑑証明書など各種証明書が取得できます！／おのまちごみ減量大作戦！
18 information ～町からのお知らせ～
20 小野町地域包括支援センターからのお知らせ／グループホームおのまちの憩で認知症カフェを開催しました！
21 公立小野町地方綜合病院からのお知らせ／9月27日献血へのご協力に感謝
22 健診を受けたままにしていませんか?
23 令和8年度追加健診（集団健診）のお知らせ
24 小野町社会福祉協議会からのお知らせ
25 休日当番医・休日当番薬局／「小野町日影南麓緑とのふれあいの森公園」の指定管理者を募集します
26 各種健診・教室などの日程
27 食品放射能測定結果／上水道水質検査結果／お誕生おめでとう／おくやみ申し上げます／町の人口・世帯数／町税等納期のご案内
28 <試行>令和8年10月1日から役場窓口受付時間を変更しています

令和８年度健康測定会・健康講演会を実施しました！

９月５日に健康測定会、６日に健康講演会を実施しました。

健康測定会は、一人ひとりの体の状態に合わせた健康づくりを支援するため、昨年度までの「健康まつり」に代わり実施したもので、健康診断だけではわからない体の状態を知ることで、自分自身の健康に必要な取り組みを知ることを目的としています。

当日は午前、午後合わせて66人が参加しました。「今まで測ったことがない項目があり参加して良かった」「健康づくりに取り組んで１年後の変化を知りたい」といった感想が多く聞かれました。

健康講演会では、福島県立医科大学医学部糖尿病内分泌代謝内科学講座の堀田悠貴先生を講師に迎え「未来の健康のために～糖尿病とは～」をテーマに、糖尿病に関する予防や健康づくりのための講話を実施しました。

糖尿病は合併症（神経障害・網膜症・腎症）を予防して生活の質を保つことが重要で、そのためには薬だけではなく、運動療法・食事療法を行い、自分の体を血糖値が下がりやすい状態にすることが必要とのお話がありました。

また講演会では、町内の健康づくり活動の紹介として「笑いヨガ」の実践を交えた紹介がありました。

測定会の結果、講演会のお話を参考に自分の健康づくりに取り組んでいただければと思います。






測定項目	依頼先・実施担当
脳の元気度（MoCA-J）	福島県立医科大学保健科学部作業療法学科
口腔機能	
10m歩行テスト	公立小野町地方綜合病院リハビリ室
握力	
尿ナトカリ比	福島県立医科大学健康増進センター
減塩に関する普及啓発	福島県県中保健福祉事務所
	福島県栄養士会
血管年齢	明治安田生命保険相互会社郡山支社 郡山営業部
ベジチェック	
ふくしま健民アプリPRブース	株式会社ル・プロジェ（福島県委託先）

ベビーケアルーム「mamaro」を設置しました！

町では、地域未来交付金（地域防災緊急整備型）を活用し、ベビーケアルーム「mamaro」を町内４施設に設置しました。

これは災害時に親と子が安心して利用できる環境の整備を目的としたもので、新生児への授乳や搾乳、オムツ替えなどに利用できます。内カギ付きで安心してご利用いただけます。室内のモニターからは使用方法や育児のお役立ち情報などが配信されます。

なお災害時だけでなく通常の施設利用時や各種イベントの際も、施設が開館している時間帯で利用できますので、ぜひご活用ください。



【設置場所】

・多目的研修集会施設（大ホール前ロビー）　・ふるさと文化の館（こどもの笑顔ひろば）
・海洋センター（ミーティングルーム前）　・町民体育館（事務室カウンター前）

木工教室を開催しました！

放課後児童クラブの小学４年生から６年生を対象とした木工教室が９月11日、児童館キラッと☆おので開催されました。

本事業は、「ふくしま森林づくり県民税」を活用し、福島県産の間伐材を使った木工作品づくりをとおして、森林の恵みや森林の大切さについて学ぶことを目的としています。

当日は、ふくしま中央森林組合の方々を講師に迎え、展示用スタンドの製作に挑戦しました。子どもたちは、木材の特徴や作業の手順について説明を受けた後、木材を組み立てたり、工具を使って加工したりするなど、一つひとつの作業に熱心に取り組みました。

慣れない作業に苦戦する場面もありましたが、講師の指導を受けながら協力して作業を進め、完成した作品を手にした子どもたちからは、うれしそうな笑顔が見られました。






秩序ある都市づくりに向けて
小野町都市計画審議会委員の任命

小野町都市計画審議会が８月26日に役場で開催され、委員の任期満了に伴い、新たに10人の委員が町長から任命されました。

都市計画審議会は、無秩序な開発を規制し、都市の秩序ある整備を進めるための都市計画について、調査・審議するための機関です。会議では、今後の都市計画における課題や取り組みなどについて説明・報告がありました。

今後、委員の皆さんには、都市計画に関するさまざまな事項についてご意見をいただきます。

委員の皆さんは下表のとおりです。

都市計画審議会委員（敬称略）

役　職	氏　名	選出区分	新任・再任
会　長	先﨑　文男	学識経験者	再任
会長職務代理者	長久保勝男		
委　員	宗像　芳男	議会議員	
	先﨑　勝馬		
	橋本　善雄		
	會田百合子		
	宗像　智	学識経験者	
	郡司　せつ	住民代表	新任
	小泉　享		再任
	石井　敏也		新任

（任期：令和８年８月１日から令和10年７月31日まで）



広島平和記念式典派遣事業

～ つなごう 平和への思い ～



「広島平和記念式典派遣事業」

町では、令和4年度から、将来を担う中学生に戦争の悲惨さや平和の尊さについて理解を深めてもらうことを目的に「広島平和記念式典派遣事業」を実施しています。

派遣事業では、平和記念式典への参列や全国こども平和サミットへの参加、原爆ドームや広島平和記念資料館、おりづるタワーの見学などを行いました。参加した4人の中学生は、本事業を通して平和への思いを深く刻み込んできました。

2学期の始業式には、参加した4人が全生徒に向けて、学んだ成果を報告しました。情報を共有することで、参加した生徒のみならず、全生徒が平和意識の向上につながる取り組みとなりました。

次のページからは、中学生4人の参加報告を紹介します。









2年1組　吉田（よしだ）　初羽（はつね）さん

私がこの派遣事業に参加したいと思った理由は二つありました。一つ目は、戦争を経験した人が身近にいないので、当時の詳しい話を聞くことができなかったからです。二つ目は、戦争の悲惨さ、平和の大切さを現地を訪れて実感し、戦争を知らない世代に自分の言葉で語りたいと思ったからです。

実際に広島に行くと、原子爆弾が落とされて焼け野原になっていた場所とは思えないほど、発展した緑豊かな都市でした。あの惨状から、ここまで復興させることができた広島の人々のひたむきな努力に胸を打たれました。

心に残っているのは、全国こども平和サミットと広島平和記念資料館です。サミットでは、被爆者である河野キヨ美さんの実体験を聴きました。立ち上がるきのこ雲、積み重なった死体、倒壊した建物。聞いているだけで当時の様子が伝わってきて、恐怖で心が苦しくなりました。本来なら思い出したくもない出来事を、戦争の脅威を伝え、繰り返さないために河野さんは私たちにお話ししてくださいました。戦争・原子爆弾がもたらした悲劇は、私たちが語り継いでいくべきだと感じました。

資料館では、原爆ドームが被爆した直後の様子や、焼け焦げた三輪車と鉄かぶと、被爆者が描いた人々の様子などの展示物を見ました。被爆時に着ていた衣類などは、原形や色が分からないほどボロボロになったものもあり、爆発の衝撃の強さを物語っていました。

今、世間では、資料館の展示物は年齢に応じて見学したほうがいいのでは、という意見が飛び交っています。直視できないほど生々しい資料を見た子どもが、トラウマになってしまうことを懸念するからだそうです。しかし私は、実際にあった日本の歴史として、年齢に関係なく向き合うべきだと思います。

私は、派遣事業を通して、戦争・核兵器が今まで教科書やニュースで見てきたものより、何倍も恐ろしいものであること、平和という当たり前の日々を当たり前のように過ごせるありがたみを学ぶことができました。式典では、広島の人々の核兵器廃絶や戦争・平和に対する思いを、サミットでは当時の辛い実体験や代表の学生による「自分が思う平和」について熱心に聴くことができました。資料館やおりづるタワーでは、日本の戦争についての新しい知識を、身に付けたり、折り鶴に込められた「復興と未来への希望」「世界平和への祈り」などの願いを知れたりしました。被爆した方たちが、どんな思いで今を生きる私たちに被爆時の凄惨な出来事を語ってくれたのかを考えながら、唯一の被爆国の国民として、身近な人たちに自分の考えとともに話していきたいです。



2年1組　吉田（よしだ）　明咲（めいさ）さん

私は今回の広島平和記念式典派遣事業で、平和への考えが変わりました。

平和記念式典では、広島市議会議長、広島市長、内閣総理大臣、広島県知事、国際連合事務総長などの方々がそれぞれの思う平和について語り、平和への祈りを伝えてくださいました。さらに「平和への誓い」では、子ども代表の方が一言一言丁寧に平和への言葉を述べていました。その場にいた誰もが平和について深く深く考えたと思います。

第二回全国こども平和サミットは、全国から集まった子どもたちが被爆者の話を聞いたり、自分たちで平和についての想いを発表し合ったりする会です。私が特に印象に残ったことは、被爆を体験した河野キヨ美さんのお話でした。ご本人が描かれた絵と共に当時の状況についてお話しいただきましたが、残酷でとても驚きました。また、被爆体験記・原爆詩の朗読では、朗読ボランティアの方の力強さで、すぐに朗読に引き込まれました。たくさんの学校で平和への活動を行っていることも知りました。折り鶴を折ったり、地域でのボランティア活動をしたりするなど、それぞれの学校で活動内容が違い、とても興味深かったです。

原爆ドームは鉄骨のドーム枠と一部のレンガ、そしてコンクリートの壁が残っていました。ドーム周辺の環境は整えられており、私が見に行った時、とてもドームがきれいに見えました。周りを流れる川、たくさんの木、それらもきれいでした。見ていたら本当に爆発してしまったのか分からなくなっていました。私がそんなふうに感じてしまうほどに復興が進められていることを知ることができました。

平和記念資料館は、原爆が落ちた当時のことをよく知ることができる場所です。分かりやすいように耳から情報が知れる音声ガイドがありました。音声ガイドでは、被爆者へのインタビューなども聴くことができ、この資料館では目からも耳からも当時の様子が分かりました。ボロボロになった衣服、兄弟への手紙、履歴書、亡くなってしまった人たちの写真、どれを見ても胸が張り裂けそうになりました。

私は広島へ行き、原子爆弾の怖さを知りました。広島に行く前までは考えられなかったと思います。偉い方々だけが平和について考えるのではなく、私たち一人一人が平和について考えることが大切だということに気付くことができました。そして、これに気付けたのはこの派遣事業があったからです。私はこの経験を忘れず、これからも平和について考えていきたいです。



2年2組　生天目（なまため）　悠仁（はると）さん

私は今回の広島平和記念式典派遣事業に参加して、私が学びたかった戦争の悲惨さや、戦争を経験した祖父の想いだけでなく、広島の人々の家族や人命に対する熱い思いと、たくましさを感じました。

１９４５年当時、広島市内は原爆投下による影響で、市内に入るだけで被爆するという想像もできない状況だったのにもかかわらず、家族を探しに自ら市内を訪れる人々、そして一人でも多くの命を救うために被爆しながらも人命救助をし続けた救命部隊の人たちは、それぞれ強い信念を持っていたと感じました。

８月６日に起きた広島原爆によるその年の死者数は約14万人にもおよび、建物は爆心地から半径２㎞以内が失われるという甚大な被害を受けました。しかし、現在の広島市は人口が１００万人を超える活気ある巨大都市にまで復興しました。その復興には広島県内のみならず、全国から集まったボランティアの人たちの努力があったからこそ、ここまで復興できたのだと感じました。

私の祖父は戦争体験者でありますが、私が生まれるずっと昔に亡くなりました。その当時、祖父がどんな想いだったのかをずっと知りたいと思っていて、せめて戦争について深く学びたいと思ったのが、この派遣事業に参加した一番の理由でした。

今回の派遣事業の学びを通して、祖父はとにかく平和な未来を願っていたと思いました。誰でも大切な人を失うのは、とても悲しいことです。しかし、一度始まった戦争は、両国が和解するか、どちらかの国が降伏するまで続きます。やりたくなくても国を守るために自らの手で人の命を奪うことは、とても重い罪を背負うことになると思います。そんな罪を背負わずに、みんなが平和に暮らすために、武力で強行するのではなく、自分と違う意見を持つ人とも、互いに理解や尊重し合い、解決するのが大切だと思います。

終戦から81年を迎え、戦争の恐怖や悲惨さを直接語ることができる人は日に日に減っています。だからこそ、私には新たな責任ができたと感じています。それは広島で見て、聞いて、肌で感じたことを、言葉にしていくことです。家族や学校、社会に、広島で学んだことや原爆の恐ろしさ、戦争の歴史について受け継いで伝えていきます。



2年2組　村上（むらかみ）　恵悟（けいご）さん

僕は広島に行ってたくさんのことを学んできました。その中でも印象に残っていることが二つあります。

一つ目は、原爆ドームについてです。広島は１９４５年８月６日、午前８時15分に上空６００ｍで原子爆弾が炸裂し、破壊的な被害を受けました。資料館には、当時の戦後の町の様子や人々が着ていた服などがありました。僕はその衣服や所持していた物を見て、今の戦争のない時代に生まれてきて良かったと心から思いました。当時広島で生きていた人々が残酷な死を迎えてしまったことはとても悲しいことです。一つの爆弾で20万人以上の人の命が失われ、半径２㎞にも及ぶ市街地が廃墟と化しました。もし自分が広島で戦争にあっていたら、今、日本と親しくしているアメリカに怒りを抱いていたと思います。

二つ目は、水を飲んではいけないことについてです。僕は、原爆のあと水を飲んではいけなかったことを広島に行って初めて知りました。火傷をすると体内の水分が失われ脱水状態になります。人々は水を求めましたが、原爆直後、水を飲んで死んでしまう人が多かったため「水を飲ませるな」と言われていました。当時の人々は、すごく苦しかったと思います。そんな中でも生き延びた人たちの力強さに感動しました。



僕は、この広島派遣事業で、社会の学習だけでは分からなかったけれど、現地に行くことで分かったことがたくさんありました。当時の人々のくらしの様子や、都市の復興の様子を見て、とても苦しい日々を乗り越えてきたのだと思いました。道に転がる多くの死体、死体でうめつくされた川など、悲惨な死を迎えた人々の様子を描いている写真などから、とても苦しかったんだな、つらかったんだなと思いました。もう、過去に起こったことは変えることはできませんが、未来は創ることができます。今、生きていることや、ここまで自分たちを育て上げてくれた人たちに感謝して生活していこうと思います。そして、二度と戦争を起こさないために、お互いを尊重し合える未来を創っていきたいと思います。

～小野町学力向上推進事業～

中学生サマー・ショートプログラムを開講

毎年夏休みに行っている、中学３年生を対象とした「サマー・ショートプログラム」を、７月21日から７月31日までの９日間実施し、塾講師による受験対策を中心とした授業を行いました。「夏を制する者は受験を制す」と言われるように、３年生にとっての夏休みは進路実現に向けてとても大切な時期です。

実施後のアンケートでは、55.8％の生徒が「とても満足」、残り44.2％の生徒が「まあまあ満足」との回答があり、実り多い講習になったようです。また「中学１・２年生の復習ができた」「夏休み中でも勉強する習慣が身に付いた」など、効果を実感できる感想がたくさんありました。進路実現に向けて頑張れ、中学３年生！





夏休み セルフ・スタディ・サポートを開講

夏休みの宿題や中学３年生の受験勉強をサポートする目的で、小学４年生から中学３年生までを対象とした「セルフ・スタディ・サポート」を、８月17日から８月21日までの５日間実施しました。

多目的研修集会施設の第１・第２研修室を会場に、午前・午後の３時間、塾講師２人に常駐いただき、児童生徒の自主学習のサポートを行いました。午前中は小学生、午後は部活動などを終えた中学生の姿が多く見られ、５日間で延べ131人が参加しました。参加した児童生徒は、講師の指導を受けながら、集中して学習に取り組んでいました。





３歳児よい歯の表彰

おめでとうございます！　これからも歯を大切に！

３歳児よい歯の表彰式が９月25日、子育て支援課キッズルームで行われました。

今回表彰されたのは、７月の３歳児健診を受けて、むし歯が１本もなかったお子さんです。

お子さんは一人ひとり、町長から表彰状と記念品を受け取りました。

表彰を受けたお子さんは次のとおりです。（敬称略）





表彰を受けたお子さん

大千里　樺乃（かの）	大山　凛虎（りと）	郡司　琴禾（ことか）	佐久間　彩友（さゆ）
長久保　朱里（しゅり）	橋本　昇（しょう）	箭内　結花（ゆいか）	

吉田政美さんをお招きして米づくり学習会（5年）

今年度、５年生は総合的な学習の時間で米作りを通して「農業」について学習しています。５月には、町内で農業を営んでいる吉田政美さんをお招きし、バケツ稲の土づくりや代掻き、田植えなどの手順を教えていただきながら「コシヒカリ」「つきあかり」「ミルキークイーン」の田植えを行いました。

７月13日に再び吉田さんをお招きし、米づくり学習会を行いました。実際にバケツ稲の生育状況を観察しながら、中干しを始める時期や目安についてアドバイスをいただきました。その後、教室に戻り、吉田さんにインタビューを行いました。「米作りで大変な仕事は？」「うれしかったことは？」「吉田政美さんにとっての米作りとは？」「大切にしていることは？」などの質問に対して一つひとつ丁寧に答えてくださいました。

最後に、吉田さんから子どもたちへ「まかぬ種は生えぬ」という言葉や、「勉強や手伝いなど、いろいろなことにチャレンジして頑張ってほしい」という励ましのメッセージもいただきました。

吉田さんは、今年11月に皇居で催される新嘗祭の献穀者に選ばれています。





保護者の皆さんのご協力に感謝（エントリー制ＰＴＡ活動）

本校では、今年度からエントリー制ＰＴＡ活動を実践しています。これは「１年間の中で保護者のどなたも、１度以上は自分が選んだＰＴＡ活動に携わる」という取り組みです。

７月12日は校舎周辺の草刈りと校舎内の窓ふき、８月22日は校舎周辺の草刈りと側溝の溝さらいの作業が行われました。朝早くから多くの方々が集まり、手際よく作業していました。

８月２日、田村地区ＰＴＡ連合会「学びの集い」が田村市中央公民館で行われ、みはる調剤薬局代表で薬剤師の濱田雅博さんが講演しました。「子どもたちの健やかな心と体を育む ～薬に頼らず健康に子どもたちを育てるために～」というテーマで、食の大切さについて分かりやすくお話いただき、家庭での食生活や生活習慣を見つめ直す貴重な機会となりました。

夏休み明けの８月25日から８月31日までの５日間、登下校安全見守り・あいさつ運動が行われました。児童が登校する時間に合わせて、保護者の皆さんが、本校正門前、駐車場入口、歩道橋脇横断歩道の３カ所に分かれて立ち、子どもたちを温かいあいさつと笑顔で迎えてくださいました。

今後も、負担にならない範囲で、できる人がやるＰＴＡ活動をしていきたいと思います。





＜お知らせ＞

学校での子どもたちの活動の様子は、「小野町教育ポータルサイト」（https://ono.fcs.ed.jp/）に随時掲載していますので、ぜひご覧ください。

ブリティッシュヒルズ研修（２年生）

２年生を対象に、７月29日から１泊２日の日程でブリティッシュヒルズ研修（天栄村）が行われ、53人の希望者が参加しました。この研修は町の事業で、英語力の向上を図るとともに、異文化に触れる機会を設け、国際感覚豊かな人材の育成を図ることを目的としています。ブリティッシュヒルズでは授業はもちろん、すべての場面で英語を使って生活をしました。日本にいながら英語や異文化に触れることができる機会で、生徒の英語力が高まる有意義な研修となりました。

英語を学ぶことで視野が広がり、人生が変わるかもしれません。今回の研修をこれからの自分の学習や生活に生かしてほしいと思います。Keep learning English!　これからも英語を学び続けてください。





吹奏楽部、大活躍

県吹奏楽コンクールが８月２日、けんしん郡山文化センターで行われ、本校の吹奏楽部が出場しました。午前中は最後の練習・調整を行い本番に備え、午後の本番ではとても気持ちのこもった演奏で銀賞を受賞しました。また８月20日には田村市文化センターで行われた田村地区小・中学校音楽祭に出場し、優秀賞を受賞しました。

８月15日には、おのまち夏まつりに出演し、代表生徒が曲の紹介など司会・進行を務め、大勢の来場者の前で堂々と演奏を披露しました。町の夏まつりのオープニングにふさわしく、会場も大いに盛り上がり、来場された方々も楽しんだ様子でした。秋篁祭（校内文化祭）での演奏もぜひ盛り上げてください。





地区中学校英語弁論大会、県大会出場、さらに東北大会へ！

田村地区中学校英語弁論大会が８月26日、三春交流館まほらで行われ、創作の部に１人（３年）、暗唱の部に２人（１・３年）が出場しました。創作の部に出場した３年生と、暗唱の部に出場した３年生が、ともに１位の成績を収め、県大会への出場権を得ました。夏休み中、毎日中学校で練習し、その頑張りが結果として表れました。おめでとうございます。なお県大会では、暗唱の部で２位の成績を収め、10月30日に山形県酒田市で開催される東北大会にも県の代表として出場することになりました。健闘を祈ります。






＜お知らせ＞

学校での子どもたちの活動の様子は、「小野町教育ポータルサイト」（https://ono.fcs.ed.jp/）に随時掲載していますので、ぜひご覧ください。

おのまち認定こども園通信

芸術の秋を楽しみました！

子どもたちは、『ちいさなみんなの作品展』に向けた制作を行いました。絵の具や折り紙、クレヨンやシールなど、さまざまな素材に触れながら、一人ひとりが自分らしい表現を楽しみました。「この色にしよう。こんな形にしてみたい」と意欲的に制作を進めて完成した作品には、子どもたちのさまざまな思いや工夫がたくさん詰まっていました。また、こども園に人形劇『ずいてん』がやってきました。楽しいお話やユーモアあふれるやり取りに子どもたちは目を輝かせながら、登場人物の動きに笑ったり、一緒に声を出して応援したりと、大盛り上がりの人形劇となり、芸術の秋を感じられる良い一日となりました。



地域子育て支援拠点事業（おひさまカフェ）のお知らせ

～友だちを誘って遊びませんか～

開催日

月曜日・水曜日・金曜日

開催時間

午前10時から午後３時まで

実施内容

おのまち認定こども園では、0歳から就学前までのお子さんや保護者の皆さんの相談や交流の場として、園を開放しています。（※こども園に在園していないお子さんも利用できます。）
電話で簡単に予約できますので、お気軽にお申し込みください。

料金

無料

予約先

おのまち認定こども園　☎73-8321

実施内容

月　日	事　業　名	内　　容
11月 14日㊏	園庭開放（午前９時から正午まで）	親子で自由に遊べるように園庭を開放します。

令和９年度おのまち認定こども園入園児募集のお知らせ

令和９年度（令和９年４月）入園児を次のとおり募集します。
入園を希望される方は、期限内に忘れずに申し込みをお願いします。手続きが遅れると、４月から入園できない場合がありますのでご注意ください。
詳しくは、別途回覧となる案内チラシまたは町公式ウェブサイトや町公式ＬＩＮＥをご覧ください。

■**申込書配付期間**
10月16日㊎から11月２日㊊まで

■**配付場所**
【新入園児】
子育て支援課
【在園児】
おのまち認定こども園

■**申込受付期間**
11月４日㊌から12月１日㊋まで

問子育て支援課
☎７２－２２１２



子どもの居場所づくり事業 こども食堂

町では子どもの健やかな成長と食育推進を目的として、社会福祉協議会と連携し、毎月１回こども食堂を実施しています。
７月17日に開催した際には、小学生57人が地域の老人クラブの方々と交流し、楽しいひと時を過ごしました。学校から多目的研修集会施設へと向かい、みんなで宿題を済ませると、老人クラブの方々に折り紙を教えてもらったり、会話を楽しんだりしながら特製カレーライスを一緒に食べました。
こども食堂は、地域の方々をはじめ、ボランティアスタッフ、皆さんのご協力を得て実施しています。
今後も子どもたちが安心して交流できる居場所づくりに取り組んでいきます。

こども食堂へ行ってみよう！





みんなで宿題タイム！







老人クラブの皆さんと一緒に折り紙！







ボランティアスタッフ特製カレー！









カレーライスごちそうさまでした！

障害年金について

～病気やけがで障がいが生じたとき障害基礎年金が支給されます～

障害基礎年金は、病気やけがによって生活や仕事などが制限されるようになった場合に、現役世代の方も含めて受け取ることができる年金です。

◆**受給要件**
次の①から③までの条件すべてに該当する方が受給できます。
①病気やけがの初診日（障がいの原因となった病気やけがについて初めて医師の診療を受けた日）が次のいずれかの間にあること。
・国民年金加入期間
・20歳前または日本国内に住んでいる60歳以上65歳未満の方で年金制度に加入していない期間
②次のいずれかの納付要件を満たしている方
・初診日がある月の２カ月前までの加入期間のうち、全体の３分の２以上保険料を納付または免除されていること
・初診日に65歳未満であり、初診日の前日において、初診日がある月の２カ月前までの直近１年間に保険料の未納がないこと
③障がいの状態が、障害認定日（初診日から１年６カ月を経過した日）または20歳に達したときに、国民年金の障害等級表に定める１級または２級に該当していること。
※定められた障がいの程度に該当するかどうかは、医師にご相談ください。

◆**ご注意ください！**
「障害者手帳の障害等級」と「国民年金・厚生年金保険障害等級」は、認定基準が異なるため、障害者手帳の交付を受けていても障害年金を受けられないことがあります。

◆**厚生年金の加入者**
厚生年金の加入期間中に初診日がある場合には、障害厚生年金が支給されます。詳細については、郡山年金事務所にお問い合わせください。

◆**障害基礎年金の年金額などはこちらから確認できます。**
→日本年金機構公式ウェブサイト

問郡山年金事務所　☎024-932-3434
町民生活課　☎72-6933

国民年金保険料の育児免除制度が始まります！

～令和８年10月から国民年金保険料の育児免除制度が始まります～

育児期間中の経済的な給付に相当する支援措置として、子を養育する国民年金第1号被保険者（20歳以上60歳未満の自営業者、農業者、学生、無職の方）について、その子が1歳になるまでの期間に係る国民年金保険料の納付を免除される制度が令和８年10月から新たに始まります。

子を育てている方（実父母・養父母）は申請することで、所得に関係なく国民年金保険料の納付が免除されます。

また、納付が免除された期間は、保険料を納付したものとして老齢基礎年金の受給額が反映されます。

詳細はこちらから！
（日本年金機構公式ウェブサイト）

問郡山年金事務所　☎024-932-3434
町民生活課　☎72-6933



マイナンバーカードをお持ちの方は コンビニで住民票や印鑑証明書など各種証明書が取得できます！

マイナンバーカードをお持ちの方は、全国にあるコンビニエンスストアのマルチコピー機を利用して各種証明書を取得できます。

〈取得可能なコンビニ〉
・セブン-イレブン　・ローソン
・ファミリーマート　・ミニストップ

〈利用可能時間〉
午前６時30分から午後11時まで
（12月29日から翌1月3日までおよびシステムメンテナンス日などを除く）

〈取得できる証明〉
（１）住民票　（２）印鑑証明書　（３）戸籍謄抄本　（４）戸籍の附票
（５）所得証明書　（６）課税（非課税）証明書（税証明書は最新年度のものに限ります）
※マイナンバー入りの住民票、住民票の除票、除籍謄抄本、改製原戸籍謄抄本の取得はできません。

〈必要なもの〉
・マイナンバーカード
・利用者証明用電子証明書の暗証番号
（マイナンバーカード受け取りの際に設定した数字４桁の暗証番号）
・各種証明書手数料
※利用者証明用電子証明書の有効期限が切れている場合は利用できません。
※顔認証マイナンバーカードの場合は利用できません。

〈利用できる方〉
小野町に住所、もしくは本籍地がある方のみご利用できます。
※小野町外に住民登録をしている方で小野町に本籍地がある方は、別途利用登録（本籍地登録）をしないと、戸籍謄抄本および戸籍の附票が取得できませんので、ご注意ください。

〈証明書の取得方法〉
コンビニのマルチコピー機にある【行政サービス】のボタンから証明書の申請ができます。
マルチコピー機により操作方法が違いますので、それぞれの操作方法に従い、申請してください。

詳しくはこちらから！

問町民生活課　☎72-6933

おのまちごみ減量大作戦！

～資源とごみの分別について、よくあるご質問をご紹介～

・危険ごみに関すること

Q. 電球、蛍光管の出し方について教えてください。
A. 蛍光管は「危険ごみ」に分類されます。できるだけ購入したときの箱に入れ「もやせないごみ（危険ごみ兼用）」の袋に入れて出してください。電球は「もやせないごみ」に分類されます。ほかの「もやせないごみ」と一緒に出してください。

Q. スプレー缶は以前は穴をあけて出していたのですが。
A. 穴をあけたことによって発生した爆発事故以後は、穴をあけないで出していただいています。ただし中身は使い切って空の状態で出してください。

・粗大ごみに関すること

Q.「粗大ゴミ」としてたむらクリーンセンターに搬入できないものには、どのようなものがありますか？
A. バイク、農機類、ガスボンベ（屋外で使用するもの）、ドラム缶、自動車部品、農業用廃材などです。これらについては、専門業者または製品販売店にご相談ください。なお自転車、家具類、布団類などは持ち込みが可能です。

Q. トラックなどがないので粗大ごみの持ち込みができない場合はどうすればよいですか？
A. 一般廃棄物収集運搬許可業者が、有料で収集・運搬します。許可業者は町民生活課までお問い合わせください。また町公式ウェブサイトでも紹介しています。

「資源とごみ分別の手引き」を次の場所で配布しています。（英語・ベトナム語版もあります。）
・役場窓口　・多目的研修集会施設
・子育て支援課　・ふるさと文化の館
・町民体育館

資源とごみの分け方についての詳細な情報は町公式ウェブサイトでもご覧になれます。
小野町　ごみの出し方

問町民生活課　☎72-6933

インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症予防接種費用助成のお知らせ

インフルエンザおよび新型コロナウイルス感染症予防接種費用の一部を助成します。接種を希望する方は、重症化予防のため、早めの接種をおすすめします。また医療機関受診の際は、マスクの着用や外出前後の手洗いうがいなどの感染症対策にご協力をお願いします。

助成内容

種類	対象者		助成上限額	自己負担額	回数
インフルエンザ	子ども皮下接種（任意予防接種）	1歳から12歳まで（初回接種時に12歳の中学生含む）	1回目：3,100円 2回目：2,000円	接種費用から助成上限額を差し引いた額	2回
		13歳以上の中学生	3,100円		1回
	子ども経鼻接種（任意予防接種）	2歳から中学生まで	5,100円		
	高齢者（定期予防接種）	①65歳以上 ②60歳以上65歳未満で心臓・腎臓病などの疾患により、日常生活が極度に制限される程度の障がいを有する者	3,180円	1,400円	
新型コロナウイルス			11,000円	4,600円	

※生活保護を受けている方は自己負担なしで接種可能ですが、受給券が必要となりますので、接種前に印鑑をお持ちのうえ、役場健康福祉課までお越しください。

接種および申請方法

①事前に医療機関（県内の医療機関で実施可）へ予約をする。
※高齢者のインフルエンザおよび新型コロナウイルス感染症予防接種を田村管内（田村市・三春町・小野町）以外の医療機関で接種される場合は、予診票をお渡ししますので、健康福祉課へご連絡ください。

②発熱など風邪のような症状がないか確認し、以下のものを持参し受診する。
持ち物：マイナ保険証（資格確認書）、自己負担金

③自己負担金を医療機関で支払う。
※子どものインフルエンザ予防接種を、田村管内（田村市・三春町・小野町）以外の医療機関で希望される場合は、一度全額自己負担し、後日役場に申請してください。

④申請に必要なものを健康福祉課へ提出する。

実施期間

10月1日㈭から
令和9年3月31日㈬まで

申請に必要なもの

①母子（親子）健康手帳
※中学生までの子どもが予防接種した場合のみ必要
②領収書
③振込先口座の写し
（請求者と同じ名義のもの）
④印鑑
⑤申請書様式
（様式は町公式ウェブサイトからダウンロードまたは窓口でお渡し可能）

問健康福祉課　☎72-6934

福島空港助成事業のご案内

福島空港活性化推進協議会（小野町も構成団体として参加）では、福島空港の利用促進を目的に、航空運賃の一部を助成しています。町民の皆さんもご利用いただけますので、ぜひご活用ください。

	福島空港利用団体助成事業	チャーター便利用助成事業
対　象	2人以上の団体	2人以上の団体
対象便	福島空港発着の定期便	福島空港発着のチャーター便
期　間	4月～5月/11月～3月	通年
助成額	・札幌便1人あたり…1万円 ・大阪便1人あたり…3千円 （大阪便乗継利用1人あたり…2千円上乗せ） ・国際便1人あたり…5千円 ※いずれも10人分を限度	1人あたり…5千円 ※10人分を限度

詳しくはこちらから！

問企画政策課　☎72-6939

「福島の森林・林業再生に向けたシンポジウム」開催！

福島県の森林・林業の現状や再生に向けた取り組みについて、広く知っていただくためのシンポジウムを開催します。

当日は、森林における放射性物質の動きや放射線に関する基礎知識について、専門家が分かりやすく解説するほか、きのこの収穫方法の紹介や収穫体験なども行います。

会場での参加に加え、オンライン配信も予定しています。森林や林業について学び、福島の森林・林業に興味を持っていただく機会として、ぜひご参加ください。

■日　　時　11月28日㈯
午後2時から午後3時50分まで
■会　　場　コミュタン福島（三春町深作10-2）
■対　　象　全国の小学校（3・4年生）・中学年以上の親子
■参 加 費　無料
■主　　催　林野庁
■実施団体　（一社）全国林業改良普及協会
■申込み期日　10月23日㈮　午後5時まで
■申 し 込 み　全国林業改良普及協会ウェブサイト

問全国林業改良普及協会　シンポジウム事務局
☎03-3500-5033

行政相談のご案内

行政相談は、行政に関する苦情や意見・要望などの相談に応じ、問題解決や運営の改善をお手伝いするものです。

無料でいつでも相談でき、秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

【行政相談委員】　吉田　誠さん（☎72-6443）

■日　　時　10月29日㈭
午後1時30分から午後3時30分まで
■場　　所　役場分庁舎　第3会議室

無料調停手続相談会のお知らせ

夫婦関係や親族間のもめごと、相続、土地建物、借入債務、交通事故、近隣トラブルなどについて、調停委員が相談に応じます。秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

■日　　時　10月17日㈯
午前10時30分から午後4時まで
■会　　場　田村市中央公民館
■申 し 込 み　事前予約不要。直接会場へお越しください。

問福島地方裁判所郡山支部庶務課　☎024-932-5656

確定申告に係る青色申告特別控除の見直しのお知らせ

令和8年度税制改正により、令和9年分確定申告から、青色申告されている個人事業主などの方の青色申告特別控除の見直しが行われます。令和9年分確定申告から青色申告特別控除を適用するためには、e-Tax（電子申告）の利用や複式簿記による記帳などが必要となることから、適用をご検討の方で対応がお済みでない場合は、お早めの準備をお願いします。

【主な改正事項】
・複式簿記による記帳を行い、e-Tax（電子申告）を利用することに加え、「優良な電子帳簿」の保存や「請求書データ等の自動連携」を行っている場合には、新たに75万円の控除が適用されます。
・複式簿記による記帳を行っていても、書面で申告する場合は控除額が10万円になります。
・複式簿記による青色申告特別控除（75万円または65万円）の適用は、e-Tax（電子申告）が要件となります。
・簡易簿記による青色申告特別控除（10万円）の適用は、前々年の収入が1,000万円以下の方などに限定されます。

詳細については、二次元コードからリーフレットをご確認ください。

No.	リーフレット	二次元コード
1	「【令和9年分確定申告から適用】優良な電子帳簿の保存又はデジタルシームレス保存により75万円の青色申告特別控除を適用しましょう！」	
2	「簡易簿記による10万円の青色申告特別控除を適用している皆様へ　令和9年分以後の所得税について、事業所得又は不動産所得に係る、10万円控除要件が変わります！」	
3	「事業所得や不動産所得等のある方には帳簿の記帳・保存義務があります！」	

問郡山税務署　☎024-932-2041

小野町地域包括支援センターからのお知らせ

◆認知症の方への接し方

認知症は、誰もがなり得る「脳の病気」です。さまざまな原因で、記憶力、思考力、判断力などが低下し、生活に支障をきたします。

認知症になっても認知機能の衰えなど、自分に変化が起きていることは感じており、できないことにイライラしたり、周囲の人の対応の変化に戸惑ったりすることがあります。認知症が進行しても、うれしい、くやしいなどの感情は残っているため、尊厳を保つ対応が大切です。

＜接し方のポイント＞

①話をよく聞く
本人の言葉に耳を傾け、受け入れましょう。

②ゆっくり話す
目線を合わせ、耳元ではっきりと明るい声で、短く簡単な言葉で伝えましょう。

③本人のペースに合わせる
本人が自分でやろうとする気持ちを尊重し、せかさずに見守りましょう。

④気持ちに寄り添う
事実と違っていても否定せず、共感や肯定的な受け答えを心がけましょう。

地域包括支援センターは、認知症の総合相談窓口で、随時相談を受け付けています。
気になることはいつでもご相談ください。

第４回 ～お知らせ～「オレンジカフェ」開催！

日　時：11月20日㊎
午後１時30分から午後３時30分まで
場　所：役場分庁舎　講堂

認知症の方やそのご家族、地域の皆さん、どなたでも参加できます。お気軽にご参加ください。



問小野町地域包括支援センター
☎72-2128

グループホームおのまちの憩で認知症カフェを開催しました！

グループホームおのまちの憩で９月７日、認知症カフェ「ikoiカフェ」が開催され、約100人の方が参加しました。認知症カフェは、認知症の方やそのご家族、地域の皆さん、介護や福祉に関わる方などが気軽に集い、交流する場です。当日は夏祭りをテーマに、縁日や屋台、花火などの催しが行われました。参加した皆さんは、屋台の食べ物を楽しんだり、縁日の遊びに挑戦したりしながら、地域の方や施設利用者、職員との交流を楽しみました。会場にはたくさんの笑顔が見られ、笑顔の絶えない時間となりました。

認知症は、誰にとっても身近なものです。認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域で支え合うことが大切です。認知症カフェは、認知症について知るだけでなく、世代や立場を超えて気軽に交流できる地域の居場所にもなっています。

町では、認知症の方やそのご家族が地域で安心して暮らせるよう、認知症カフェの普及・開催支援を行っています。今後も地域の皆さんが気軽に集い、交流しながら認知症への理解を深められる機会づくりを進めていきます。





問健康福祉課　☎72-6934

公立小野町地方綜合病院からのお知らせ



患者無料送迎サービスの利用について

◎ 当院へ受診のため通院される方ならどなたでもご利用できます。
◎ 自宅へのお迎え、お送りのどちらかだけでも利用できます。
◎ 自家用車の運転に不安のある方、遠方で公共交通機関の利用が難しい場合などもご利用ください。
※歩行困難な方の介助、補助はできませんので利用対象外となります 。

送迎エリア

※週によって送迎エリアが異なります

小野町、田村市滝根町、田村市大越町、平田村、川内村、いわき市川前町、
いわき市三和町、郡山市中田町、郡山市田村町(田母神地区)

予約制

ご利用日の２日前までに受付窓口またはお電話でお申し込みください。
電話予約受付：月曜日から金曜日まで(土日祝日除く)　午前９時から午後４時まで

ご利用について

運行：月曜日から金曜日まで（土日祝日除く）午前10時から午後４時まで(病院到着)
・お迎えの時間は**ご利用日の前日**にお電話で連絡します。
・初めて利用される方は、受付で「同意書兼申込書」の記入が必要です。
・ほかの患者さんとの相乗りとなります。
・送迎途中でスーパーや銀行などへ立ち寄ることはできません。
・キャンセルは事前に必ずご連絡ください。

問公立小野町地方綜合病院　☎72-3181

9月27日献血へのご協力に感謝

おのタウンコムコムで９月27日に献血を実施しました。献血に協力いただいた方および場所を提供いただいた企業の方々に紙面よりお礼申し上げます。

献血にご協力いただいた方には、小野町ライオンズクラブ様から社会貢献活動の一環として提供された「卵（１パック）」を記念品として配布しました。

現在までの献血実施状況は右表のとおりです。日頃から健康管理に努め、多くの方が献血会場にお越しくださるよう、あらためてお願いします。

問健康福祉課　☎72-6934

【令和８年度実施状況】(実施回数２回)

令和８年度目標		９月27日までの献血数(人)	達成率(%)
200ml	6	0	0
400ml	191	104	54.4
(200ml換算単位数)	388	208	53.6





健診を受けたままにしていませんか?

放っておかないで！あなたの血圧

「年を取ればみんな高血圧になるから」「今日はちょっと高かっただけ」と高血圧を甘く見ていませんか? 放っておくと脳血管疾患や心臓病、腎障害などの合併症を引き起こし、死に至る危険が増加します。心筋梗塞や脳卒中は、一命を取り留めることができたとしても、日常生活に大きな支障がでる場合がある怖い病気です。

下表のとおり、今年度の住民総合健診受診者の４人に１人は高血圧の基準に該当していますが、半数以上は治療をしていない状況です。血圧がコントロールできれば、合併症の多くは予防できます。早めに気づき、生活習慣の改善や適切な治療につなげることが大切です。

【高血圧該当者】（令和８年度住民総合健診受診者データ：全体受診者数772人）

血圧分類	治療**なし**	高血圧治療**なし** （糖尿病・脂質異常症治療中）	高血圧治療中
Ⅰ度（140～159または90～99）	63人	68人	12人
Ⅱ度（160～179 または100～109）	23人	19人	5 人
Ⅲ度（≧180または≧110）	5 人	1 人	0 人

家庭血圧を測定しましょう!

血圧管理は、自覚症状がないだけに続けることは大変ですが、家庭血圧の測定は健康管理の基本です。

1 正しい測定方法は?



2 血圧の基準値

正常血圧の基準値

	収縮期	拡張期
家庭で測定	115 未満	75 未満
病院で測定	120 未満	80 未満

高血圧の診断基準

降圧治療の対象

	収縮期	拡張期
家庭で測定	135 以上	85 以上
病院で測定	140 以上	90 以上

（参考）高血圧ガイドライン 2025

令和８年度追加健診（集団健診）のお知らせ

今年度“ 最後 ”の集団健診です。年１回は必ず健診を受診しましょう。

【健診日程】 11月15日㊐
【受付時間】 ①8：00 ②8：30 ③9：00 ④9：30 ⑤10：00
【会　　場】 多目的研修集会施設
【予約日時】 10月28日㊌ 午後５時まで
【予約方法・受診の流れ】

❶予約期間内にインターネットまたは電話で予約する。

●インターネット予約

QRコード または町公式ウェブサイトから専用ページにアクセスし予約する。

●電話予約

申し込み先：健康福祉課（☎72-6934）　受付時間：平日 午前８時30分から午後５時15分まで

❷11月上旬に健康福祉課から健診に必要な書類などが届く。

❸必要な持ち物などを確認し、予約した時間に受診する。

【受診できる項目】

健診の種類	検査内容	対象者 （令和9年3月31日時点の年齢）	自己負担金
放射線健康サポート検診	血液検査（腎機能・貧血検査など）	19歳以上	無料
県民健診	身体測定、尿・血液検査、血圧測定、心電図、眼底検査	19歳から39歳までの、職場などで受診する機会のない方	
特定健診		・40歳から74歳までの国保加入者 ・40歳から74歳までの社会保険扶養の方で受診券をお持ちの方	
後期高齢者健診		75歳以上	
肝炎ウイルス検診	血液検査	40歳以上で今まで検査していない方	500円
肺がん検診	胸部X線撮影	40歳から64歳まで	無料
結核検診		65歳以上	
胃バリウム検診	バリウム検査	40歳以上	
大腸がん検診	便潜血検査		
前立腺がん検診	血液検査	50歳以上の男性	500円

小野町社会福祉協議会からのお知らせ

有償ボランティア事業「ささえ愛」のご案内

～ささえ愛（支え合い）活動で活躍してみませんか～

社会福祉協議会では、地域のちょっとした「困った…」を住民同士で助け合う**有償ボランティア事業「ささえ愛」**を実施しています。買い物代行、ゴミ出し、簡単な掃除、電球交換、受診の付き添いなど、介護保険では対応しきれない日常の負担を、地域のボランティアが有償でお手伝いする“お互いさま”の活動です。

◆令和８年度 ボランティア養成講座を開催しました！

活動をより安心して行えるよう、**ボランティア養成講座（入門編）**を開催しました。講座では、活動の心構え、支援時のポイント、ささえ愛の手引きの説明など、基礎的な内容を学んでいただきました。
受講者の中には実際に支援者登録を行い、活動を始めた方もいて、地域の支え合いの輪が広がっています。



◆活動したい方へ（お手伝いしたい方）

社会福祉協議会窓口で支援者登録を受け付けています。活動に不安がある方は、養成講座や個別説明でサポートします。「できる範囲で誰かの役に立ちたい」という方を随時募集しています！



「簡単な掃除」の様子



「草むしり」の様子

◆利用したい方へ（お手伝いしてほしい方）

社会福祉協議会窓口で利用登録を受け付けています。状況に応じて自宅訪問での登録も可能です。家族・友人・ケアマネジャーからの相談も受け付けています。

◆地域の支え合いを一緒に広げましょう

「ささえ愛」は、住民同士の温かい支え合いで成り立つ活動です。活動したい方も、利用したい方も、まずは社会福祉協議会へご相談ください。

問小野町社会福祉協議会　☎72-6866

当　番　医

休日当番医

月日	当番医	所在地	電話番号
10月 18日㊐	中央通りクリニックやない	田村市船引町	81-2662
25日㊐	なごみファミリークリニック	三　春　町	62-2473
11月 1日㊐	東部台こどもクリニック	田村市船引町	81-2580
3日㊗	石塚医院	小　野　町	72-2161
8日㊐	船引クリニック	田村市船引町	82-0137

休日当番薬局

月日	当番薬局	所在地	電話番号
10月 18日㊐	コスモ調剤薬局東部台店	田村市船引町	81-2205
11月 1日㊐	コスモ調剤薬局東部台店	田村市船引町	81-2205
3日㊗	ヤナイ調剤薬局	小　野　町	72-5912
8日㊐	すず調剤薬局船引店	田村市船引町	61-4343
	コスモ調剤薬局船引店	田村市船引町	81-2833

●休日当番医を受診する場合は、必ず事前に電話確認のうえ、受診してください。

＊医療機関・薬局情報検索は
「医療情報ネット」もご利用ください。

救急電話相談

◆受付時間
24時間（年中無休）

◆電話番号
〈短縮ダイヤル〉☎#7119
〈一般ダイヤル〉☎024-524-3020



こども救急電話相談

◆受付時間
午後６時から翌朝８時まで（年中無休）

◆電話番号
〈短縮ダイヤル〉☎#8000
〈一般ダイヤル〉☎024-521-3790

「小野町日影南麓緑とのふれあいの森公園」の指定管理者を募集します

「小野町日影南麓緑とのふれあいの森公園」は、平成11年に町民の健康増進と憩いの場、レクリエーションおよび交流の場として整備され、多くの方々に利用されてきました。

現在の指定管理契約（令和４年度から令和８年度まで）の満了に伴い、令和９年度から３年間、指定管理制度による管理・運営を行っていただく法人その他の団体を公募により選定します。

公募内容の詳細については、産業振興課までお問い合わせください。

なお募集要項は町公式ウェブサイトからダウンロードすることができます。

町公式ウェブサイト
募集要項ページ



問産業振興課　☎ 72-6938

お誕生おめでとう

（敬称略）

届出月	氏　名	（父・母）	行政区
8月	吉田　笑音（えと）	（圭　佑・亜　実）	浮　金
	吉田　結愛（ゆあ）	（泰　斗・美　里）	皮籠石

おくやみ申し上げます

（敬称略）

届出月	氏　名	年齢	行政区
7月	吉田　豊美	65	飯豊上
	舘川　和智	47	吉野辺
	会田　冬子	91	吉野辺
8月	三部　健吉	80	大　八
	佐久間修一	76	浮　金
	宗像　勝仁	59	浮　金
	大山　良一	88	小野山神

■町の人口・世帯数（令和８年９月１日現在）

人口	男	4,062人（▲９人）
	女	4,031人（▲５人）
	計	8,093人（▲14人）
世帯数		3,322世帯（▲15世帯）

※（　）内は前月比

町税等納期のご案内

納期限　11月2日㊊

町県民税　３期
国民健康保険税　４期
後期高齢者医療保険料３期

※口座振替の方は、納期限の前日までに口座残高の確認をお願いします。

◆町では口座振替での納付を推進しています

口座振替は、指定の口座から納期限日に自動的に振り替えて納付できる便利な制度です。ぜひご利用ください。なお利用するためには申し込みが必要です。申し込み方法の詳細については、税務課へお問い合わせください。

コンビニエンスストアでも納付できます。ただし１枚あたりの金額が30万円を超える納付書や、納期限後30日を経過した納付書は使用できません。

※町県民税と国民健康保険税は、地方税共同機構が運用する「eLお支払いサイト」からクレジットカード納付や「eL-QR」（QRコード）によるスマホ決済アプリで納付できます。

お支払い方法の詳細については、「eLお支払いサイト」をご覧ください。（eLお支払いサイトで検索をしていただくか、下記のQRコードを読み込んでください。）

（https://www.payment.eltax.lta.go.jp/）

㊊税務課　☎72-6932

食品などの放射能測定結果

町で実施している簡易検査、ゲルマニウム半導体放射能測定器および非破壊式測定器による検査結果（８月分）をお知らせします。

■非破壊式測定器による測定結果

区分	検体数	検体名	測定結果（ベクレル）（Bq/kg）
基準値を超えたもの	0	—	—
基準値未満または検出限界値以下のもの	4	井戸水、引き水	

※測定結果の値は、セシウム134およびセシウム137の合計値です。

食品中の放射性物質（セシウム）の基準値

飲料水　…　10Bq/kg
牛乳・乳幼児食品　…　50Bq/kg
一般食品　…　100Bq/kg

◆検査を希望される方へのお願い

①検体を持参するときは、土やごみなどの汚れはきれいに洗い流し、すぐに調理できる状態にしてください。
②検体は必ず１キログラム持参してください。量が少ないと正確な値が出ない場合があります。

㊊健康福祉課　☎72-6934

上水道水質検査結果

９月に実施した水道水の水質検査の結果は、次のとおりです。

試験項目	水質基準	試験結果
一般細菌	100CFU/ml以下	0 CFU/ml
大腸菌	検出されないこと	検出せず
塩化物イオン	200mg/l以下	10mg/l
有機物（TOC）	3mg/l以下	0.9mg/l
PH値	5.8～8.6	7.1
味	異常でないこと	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし
色度	5度以下	0.6度
濁度	2度以下	0.1度未満

㊊地域整備課　☎72-6936

各種健診・教室などの日程

内　容			日　時		場　所	申し込み・問い合わせ先
乳幼児健診	４カ月児健診	令和８年５月20日から７月28日生まれのお子さんが対象です。	10月28日㊌	受付 13：00～13：15	こども家庭センター キッズルーム（子育て支援課）	子育て支援課 ☎72-2212
	10カ月児健診	令和７年11月・12月生まれのお子さんが対象です。				
	育児教室	生後１カ月から２カ月までのお子さんとその親を対象とした教室です。対象者には保健師から案内します。	10月27日㊋	※要申し込み（育児教室を除く）		
	すくすく発達教室	発育や発達の相談、親子遊びや保護者の交流の場として開催します。	10月16日㊎			
	子どもの相談室	言葉の遅れや行動など、お子さんの発達についての相談に臨床心理士が対応します。			こども家庭センター 会議室	
	ママのリフレッシュ教室	産前・産後・子育て中のお母さんを対象に体操教室を実施します。	10月19日㊊ 11月９日㊊		児童館 キラッと☆おの	
	親子ふれあい教室	就学前のお子さんとその家族の遊びの教室です。	10月15日㊍ 11月19日㊍			
	わくわくタイム	親子の運動遊びや交流のための教室です。	10月28日㊌ 11月４日㊌		児童館 キラッと☆おの	
					小野運動公園	
健康づくり	夜間ヘルスアップ運動教室	運動不足解消を目的としたストレッチや有酸素運動を行います。	10月15日㊍ 22日㊍ 11月５日㊍ 12日㊍	19：00～20：30 ※要申し込み	B&G海洋センター	健康福祉課 ☎72-6934
	フィットネスクラブ	ヨガなどを中心とした運動を行います。	10月29日㊍			
	ヘルスアップ運動教室	60歳以上を対象に介護予防を目的とした運動を行います。	10月16日㊎ 23日㊎ 29日㊍ 11月６日㊎ 13日㊎	10：00～11：30 ※要申し込み	多目的研修集会施設	

広告募集

社会福祉法人　田村福祉会
交流会・職場説明会のお知らせ
（10月25日・11月22日）

採用に関する詳しい内容は、ホームページをご覧ください。▶▶▶
ご連絡お待ちしております。
社会福祉法人田村福祉会
〒963-7752 田村郡三春町字六升蒔68　☎0247-61-2761

広告欄

広報 おのいろ　2026年10月号　No.764

編集と発行／小野町役場総務課　福島県田村郡小野町大字小野新町字舘廻92
☎0247-72-2111(代)　ウェブサイト https://www.town.ono.fukushima.jp

※記事については、常用漢字・人名用漢字で記載しています。

＜試行＞令和８年10月１日から

役場窓口受付時間を変更しています

変更前　午前８時30分から
午後５時15分まで

変更後　**午前９時**から
午後４時30分まで

※窓口延長日(水曜日)は、**午後６時30分まで**

☑ 電話受付時間は、午前８時30分から午後５時15分までで変更ありません。
☑ 下記の出先機関の受付時間は変更ありません。

・教育課　・公民館　・町民体育館　・ふるさと文化の館
・子育て支援課　・児童館キラッと☆おの

各種証明書のコンビニ交付や、税金等のコンビニ納付・スマホ決済などデジタルサービスの拡充により、朝や夕方の利用者が減少している状況です。

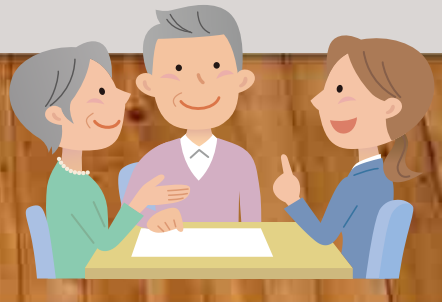
これらの状況や職員の働き方改革の一環として、試行的に窓口受付時間を変更しています。

試行期間は約３カ月間(**～12月28日まで**)とし、試行期間中の受付時間変更による影響などの評価・検証をした上で問題がなければ、**来年３月末**まで延長します。

なお今回の試行結果の検証を踏まえ、本格的な実施を検討する予定です。

ONOMACHI

お問い合わせ：総務課　☎72-2111



FSC ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C010089
www.fsc.org

この印刷物は、FSC® の基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。